



Title	文芸学研究 第10号 表紙
Author(s)	
Citation	文芸学研究. 2006, 10
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/46099
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

文芸学研究

第 10 号

- 良心と芸術 立野良介 (1)
——W. パーペートの「芸術哲学」に依拠して
- 物語的理解と自己同一性 萩原康一郎 (21)
——ポール・リクール『時間と物語』を中心に
- 文学と歴史 戸高和弘 (49)
——アリストテレス『詩学』第九章より
- 鳴り響く母語の形式 中村 真 (72)
——オタカル・ホスチンスキイの作詩法と音楽に関する
著作における「民族性 *národnost*」概念について
- ノヴァリナ演劇における人間の解体 井上由里子 (95)
——処女作『飛行する工房』をめぐって
- プロレタリア演劇衰退期の『ハムレット』 正木喜勝 (107)
——1933 年築地小劇場改築竣工記念公演をめぐって
- 欧文要旨 (125)

2006

文芸学研究会